

## 令和２年度 事業報告

北海道における高齢化率（令和２年１月１日現在）は、３１．７％となっており、全国平均を３．３ポイント上回っているなど少子高齢化が急速に進行している。

また、道内会員の平均年齢も新規加入者の減少及び高齢化などから令和２年度では７３．８歳となり、前年度と比べ０．５歳と大幅に伸びたところである。

このような中、道内のシルバー人材センター事業については、高齢者活用・現役世代雇用サポート事業（サポート事業）や、平成３０年度からスタートした第２次会員１００万人達成計画（北海道版）に基づき、会員拡大や就業先の確保等のための事業を展開したが、年度を通じて、新型コロナウイルス感染症拡大の影響（以下「コロナ禍」という。）により厳しいセンター運営を余儀なくされた。

会員数については、各センターの能動的な取組（各種入会促進イベント等）が、コロナ禍の中で中止を余儀なくされるなど、著しい影響を受けた結果、前年度を６０４人下回る１６，４８９人となった。

個別のセンターの状況では、元年度より会員が増加したセンターは１１センターあった。

コロナ禍の中でも各センターが取り組んだＰＤＣＡによる目標管理と地道な取組が一定の成果を上げていることから、引き続きＰＤＣＡによる目標管理等に取り組んでいく必要がある。

シルバー事業関係では、請負委任事業における契約金額については、２０２，９４８千円減の５，５７８，１１２千円となった。

一方、労働者派遣事業については、３５実施事務所がシルバー派遣を行い、契約金額は１，０２７，７０７千円となり前年度に比べ９４，２６６千円の減となった。

適正就業の観点や会員のニーズに応じた新たな職域を開拓するうえでも効果的な労働者派遣事業と、高齢会員のペースに合わせた就業が比較的可能な請負委任事業と、それぞれの事業について需要確保を図りながら、会員の選択肢を広げていくことが重要である。

近年、急速な少子高齢化社会が進展する中、人手不足分野や保育及び介護等の現役世代を支える分野での労働力確保に貢献するシルバー人材センターに対し、企業や地方自治体からも大きな期待が寄せられている。

また、就業を通じて健康を維持し、収入を得るという側面だけではなく、社会参加活動や、社会貢献活動を実施しているシルバー人材センターが果たすべき役割はますます重要になっている。

令和2年度における各事業の取り組み状況は次のとおりである。

## 1 普及啓発事業

### (1) 普及啓発促進月間の設定

① 10月の「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」には、各センターにおいてシルバーフェスティバル、ボランティア活動等の地域に密着した多彩な取り組みを計画していたが、その多くはコロナ禍により中止や縮小を余儀なくされた。

連合会においては北海道知事、北海道労働局、北海道市長会、北海道町村会、経済6団体等関係機関への協力要請を行った。

② 「シルバーの日」の設定 [ 令和2年10月17日(土) ]

10月の第3土曜日が「シルバーの日」として設定されており、各センターにおいて普及啓発活動や社会奉仕活動等を計画したが、その多くはコロナ禍により中止や縮小を余儀なくされた。

### (2) シルバーフェスティバルの開催

11月に近隣センターと連携し札幌駅地下歩行空間において普及啓発活動を計画していたがコロナ禍により中止を余儀なくされた。

### (3) 会報の発行

センター役職員、会員等を対象に機関紙「道シ連」を年2回発行した。

発行月	10月、1月
発行部数	各1,800部
配布先	各シルバー人材センター、賛助会員、関係機関・団体、全シ協、高齢者事業団

### (4) 事業概要の作成

連合会事業の実施状況及び各センターの事業実績を中心に編纂し、関係機関・団体への参考資料として配付した。

発行月	8月
発行部数	320部
配布先	各シルバー人材センター、賛助会員、関係機関・団体、全シ協、高齢者事業団

### (5) 高年齢者雇用就業パネル展の開催

北海道経済部、北海道高齢・障害者雇用支援センターと共催、北海道労働局の後援で高年齢者就業事業等のパネル展を実施し、広く高年齢者就業事業等の周知・啓発を行った。

開催日 令和2年9月8日(火)～9日(水)

場 所	北海道庁 1 階ロビー
内 容	パネルの展示、リーフレット配布、石狩市 S C 木工製品・札幌市 S C 手芸品販売

(6) 普及啓発リーフレットの作成

新規会員募集、発注者向けとして請負用啓発リーフレット及び派遣用啓発用リーフレットを作成、各センターへ送付し、普及啓発及び就業開拓の際に活用した。

作 成 月	8 月
作 成 数	請負用啓発リーフレット 15,800部 派遣用啓発リーフレット 10,700部
配 布 先	各シルバー人材センター

2 就業開拓等事業

(1) 就業開拓の推進

当連合会として、北海道知事、北海道労働局長、自由民主党北海道支部連合会長、公明党北海道本部長、立憲民主党道連会長、国民民主党北海道総支部連合会長に対し、シルバー人材センター会員の就業先の確保のため、公共事業への発注、補助金の確保、会員の就業機会の拡大、収支相償の緩和等についての要請を行うとともに、経済 6 団体等に対しても、シルバー事業の P R と併せて受注確保についての文書要請を行った。

なお、事務局長会議と理事長会議において就業機会の拡大について検討することとしていたが、両会議ともコロナ禍により開催できなかった。

3 交流研修事業

(1) 業務担当者研修会の開催（コロナ禍により中止）

(2) 役員研修会の開催（コロナ禍により中止）

(3) 派遣実務担当者研修会の開催（オンライン会議）

開 催 日	令和 3 年 2 月 1 7 日（水）
場 所	T K P 札幌ビジネスセンター 赤レンガ前
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講 演「シルバー人材センターの適正就業について」 講師 厚生労働省北海道労働局職業安定部需給調整事業課 課長 坂本 恵治 氏</li> <li>・道シ連説明 <ul style="list-style-type: none"> <li>・派遣労働会員への教育訓練について</li> <li>・シルバー派遣事業の留意点について</li> </ul> </li> </ul>

#### 4 指導相談事業

##### (1) 会計担当者研修会の開催

開催日 令和2年10月22日(木)  
場所 TKP 札幌ビジネスセンター赤レンガ前  
内容  
・講義

- ① 「会計・経理事務（財産管理関係）における自主点検のチェックポイントについて」
- ② 「補助金の適正利用について」

##### 講師

- ①北海道総務部法人局法人団体課  
公益法人グループ主査 安藤 あかね氏
- ②厚生労働省北海道労働局職業安定部  
職業対策課主任 北嶋 景氏

##### ・道シ連説明

- ・国庫補助金申請・実績報告の留意点等について

##### (2) 個別訪問指導

9カ所のシルバー人材センターを訪問し指導・相談を実施した。

##### 指導・相談実施状況

6月 当別町 SC  
9月 釧路市 SC、夕張市 SC、網走市 SC、北見市 SC、遠軽町 SC  
10月 岩見沢市 SC、新ひだか町 SC  
11月 登別市 SC

#### 5 安全・適正就業推進事業

安全・適正就業推進基本計画に基づき、安全就業意識の啓発や事故防止の徹底を図るため、安全就業推進員研修会を開催した。

また、安全適正就業ガイドラインの周知について、各センターを通じて実施した。

##### (1) 安全・適正就業推進委員会の開催（コロナ禍により中止）

コロナ禍により開催を中止し、各委員あてに安全関係資料を送付した。

## (2) 安全就業推進員研修会の開催（オンライン会議）

各センターの安全就業推進委員を対象に、シルバー事業として実施している請負・委任に係る安全就業対策の緊要性の認識を高めるとともに、機械除草による賠償事故が多く発生していることから、草刈り・剪定作業の安全就業対策について、シルバー人材センターの作業場面をイメージして専門家からの講演を実施した。

開催日 令和2年12月15日（火）

内容

・講演 「草刈り時の安全対策について」

講師 中央労働災害防止協会北海道安全衛生サービスセンター  
安全管理士 橋本 秀利 氏

## (3) 安全就業強化月間の設定

全シ協の安全就業強化月間（7月）に併せて設定し、各センターと連携・協力して会員の安全意識の高揚を図った。

## 6 調査研究事業

### (1) 資料の収集と提供

労働市場、福祉・介護等関係資料の収集、集約、提供を行った。

月刊シルバー人材センター（全シ協刊行）を北海道・北海道労働局等関係機関、報道機関、一定規模以上の高齢者事業団に配布した。

## 7 シルバー人材センター設置促進事業

(1) 未加盟高齢者事業団等関係機関に対し道シ連の機関紙「会報 道シ連」ほか関係資料を提供した。

(2) 令和元年度「事業概要」を道内の市町村、未加盟事業団に送付し、シルバー事業及び連合会についての理解と協力を求めた。

## 8 職業紹介事業

雇用を希望する高齢者に就職を斡旋する職業紹介事業について、各シルバー人材センターにおいて求職者に適合する求人の確保に努めた。

## 9 労働者派遣事業

令和元年度は道内35の実施事務所が事業を実施した。

シルバー人材センターと密接な連携を図り、労働者事業の円滑かつ適正な運営を図った。

就業時間拡大の取組については、令和元年10月1日に北海道知事から指定を受けたところであり、当面、指定された業務拡大範囲の実績向上を図ることとしている。

【令和2年度 35実施事務所実績】

- 就業実人員 1,662人      ●就業延人日 180,562人日
- 派遣件数 1,083件      ●派遣事業収入 1,027,973千円

10 高齢者活躍人材確保育成事業の実施

北海道労働局から随意契約で受託し、新規会員の増加を目的とした説明会や、セミナー、就業体験や技能講習を実施した。

【取組状況】

- ・事業周知・広報 102回(延)
- ・説明会 53回(参加者379人、入会者117人、就業者51人、就業率43.6%)  
(うちセミナー 11回(参加者80人、入会者15人、就業者10人、就業率66.7%))
- ・就業体験 31回(体験者108人、入会者77人、就業者51人、就業率66.3%)
- ・技能講習 6回(受講者27人、入会者4人、就業者10人、※就業率250%)  
※ 職種転換会員を含む。
- ・新規会員数 198人(事業目標92人)、達成率215.2%
- ・就業率 56.6%(就業者112人(職転会員10人を除く。)÷新規入会者198人)

11 女性対象イベントの開催

コロナ禍により全シ協からの具体的指示なく開催に至らなかった。

12 諸会議の開催

会議名	開催年月日	開催場所
定時総会	第1回 令和2年 6月18日(木)	ホテルポールスター札幌
三役会	第1回 令和2年 8月24日(月)	TKP札幌ビジネスセンター赤レンガ前
	第2回	コロナ禍により中止
理事会	第1回 令和2年6月15日(月)	書面決議
	臨時 令和2年6月18日(木)	ホテルポールスター札幌
	第2回 令和2年10月8日(木)	TKP札幌ビジネスセンター赤レンガ前
	第3回 令和3年3月24日(水)	書面決議
	臨時 令和3年 1/19.2/22.3/1	定款変更のため 書面決議
理事長会議	第1回	コロナ禍により中止
事務局長会議	第1回	コロナ禍により中止